

単
元
名

～球技大会で実施する三中オリジナルニュースポーツを開発しよう！～

ユニバーサルデザインをふまえたニュースポーツ

教科書出版社名（大日本図書）

○ 中学校（ 2 ）年 教科等（ 保健体育 ）

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

（教科等で付けたい力）

・既存のスポーツを参考にして独自の考えを取り入れ、主体的に創意工夫する力。

（学校図書館等の活用で付けたい力）

・様々な情報を比較検討し、それぞれのよさや課題、発展的な解決方法を考える力。

○ 学校図書館等活用のポイント（簡潔に記入してください）

●情報収集・●図書やインターネットなどのたくさんの情報の中から、自分の求めるものを見つける。

●整理・比較・●課題達成のためにワークシートなどに記入し、考えを整理する。

●まとめ・表現・発信・●他の班の発表から得た気づきを、自分たちの班の表現に活かす。

他の班からのアドバイスをもとに、最終発表に向けて見せ方を工夫する。

○ 学習の展開（全6時間）（学校図書館等を活用した時間は☆印）

第1次	・今回の趣旨の説明、これまでにこなった課題のスキルを駆使して課題にどうアプローチしていくかを考える。 ・同じような方向性を持つ仲間とグループを作る。 ・ユニバーサルデザインの定義を伝える。
第2次☆	・ラグビーとタグラグビーの違いから考え方のヒントを得る。【☆本時】 ・信ぴょう性に気を付けて資料を検索し、具体的な内容を検討する。 ・実際に設定した内容のニュースポーツをそれぞれ行い、ルールなどを検証する。
第3次	・第2次で行った検証をもとに再度構成を調整し、仕上げる。 ・手直した内容で種目を行い、再検証を行う。

(本時 2 / 6 時)

☆学校図書館等活用 (本時) の学習

本時のねらい
・情報を活用してユニバーサルデザインをふまえたオリジナルニュースポーツの骨組みを考えよう。

学習展開

時間 (分)	主な学習活動	指導上の留意点
3	1. 前時の確認 今日のめあてを明確にする。	
球技大会をイメージし、誰もが簡単に参加できるニュースポーツを考案しよう！		
15	2. 具体例の紹介やきっかけの提示 ニュースポーツ (タグ・ラグビー) を紹介し、その特徴を伝えてユニバーサルデザインの観点で考える。	・観点は複数あるため1つにこだわらないようにする。
25	3. 今日の主活動 図書館機能を活用しニュースポーツを考案していく。 ・4人～6人程度のグループでおこなう。 ・検索は図書やインターネット等を活用する。 ・役割分担を行い、種目名、ルール、準備物など開催にあたり必要な項目を検討していく。 ・土台となる既存のスポーツを選んでマイナス要素を省けるルール作りを行う。	・抽象的なところから膨らませるのか、細目から決めていくのか、方向性を対話で深める。
7	4. 振り返り ・ワークシートに今日の成果をまとめる。 ・実際に試技できるように次時に取り組むべき内容について優先順位を確認する。	・資料の信ぴょう性を意識しながら、骨組を固めていく。 ・1限からの流れがわかるように工夫してまとめる。

